

東京都中央区における 新たなコミュニティの可能性

中央区議会議員 河井志帆

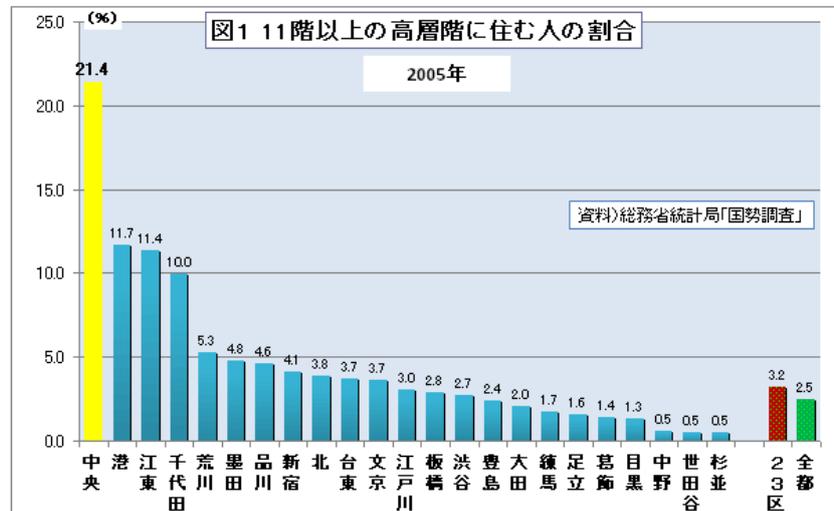
東京都中央区の概要

- ・日本の商業・経済・文化の中心地として発展
- ・面積10平方キロ
- ・人口13万人(外国人含)
 - ※昼間人口は70万人
 - ※5年で25%人口が増加
 - ※25歳～49歳の区民で全体の半数を占める
 - ※集合住宅の居住率が88%



増える超高層マンション

- 中央区内で高さ60mを超える超高層マンションは47棟
- そのうち高さ100mを超えるものは24棟(そのうち20棟が月島地区)



3. 11でわかったこと

高層マンション住民は

- ・自宅で数日生き延びなければならない
- ・公的部門からの支援は得られない

※中央区では10階建て以上のマンションには5フロア毎の防災備蓄倉庫の設置を義務付け(H19以降)



「困ったときに相談できる人が近所にいますか？」

助け合いの輪(コミュニティ)

「コミュニティは、どのように形成されていくか？」

- ・趣味のサークル
 - ・ペットつながり
 - ・幼稚園・小学校のママ友&おやじの会 等々
- コミュニティから漏れている(孤立している)
人はいないか？いたらどうするか？
- それぞれのコミュニティを繋ぐ必要性はないか？

顔の見える「ご近所さん」づくり

管理組合下の防災委員会でキャンペーン実施

内容)「マンションの防災機能を知ろう！」

手法)数フロア毎のブロックに分割

週末の日中にブロック単位で開催

フロア別のテーブルを用意

ねらい)同じフロアの住民同士

または近隣階住民間の交流促進



行政は何をすべきか

- 自助の重要性について普及啓発
- 多様なニーズに対応した交流の場の提供
- 非常用発電機の燃料確保
- 防災備蓄倉庫の一定フロア毎の設置促進
etc.

ありがとうございました。

